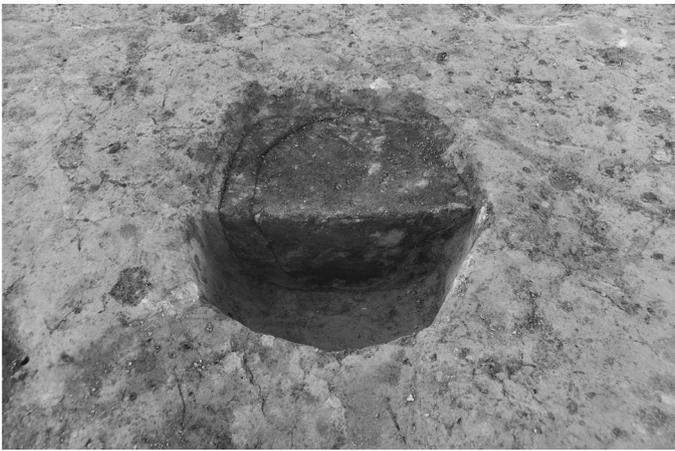


56 A区 SB01 完掘 (南から)



57 A区 SB02 完掘 (南から)



58 A区 SB01 P3 土層断面 (東から)



59 A区 SB01 P3 柱痕跡検出 (東から)



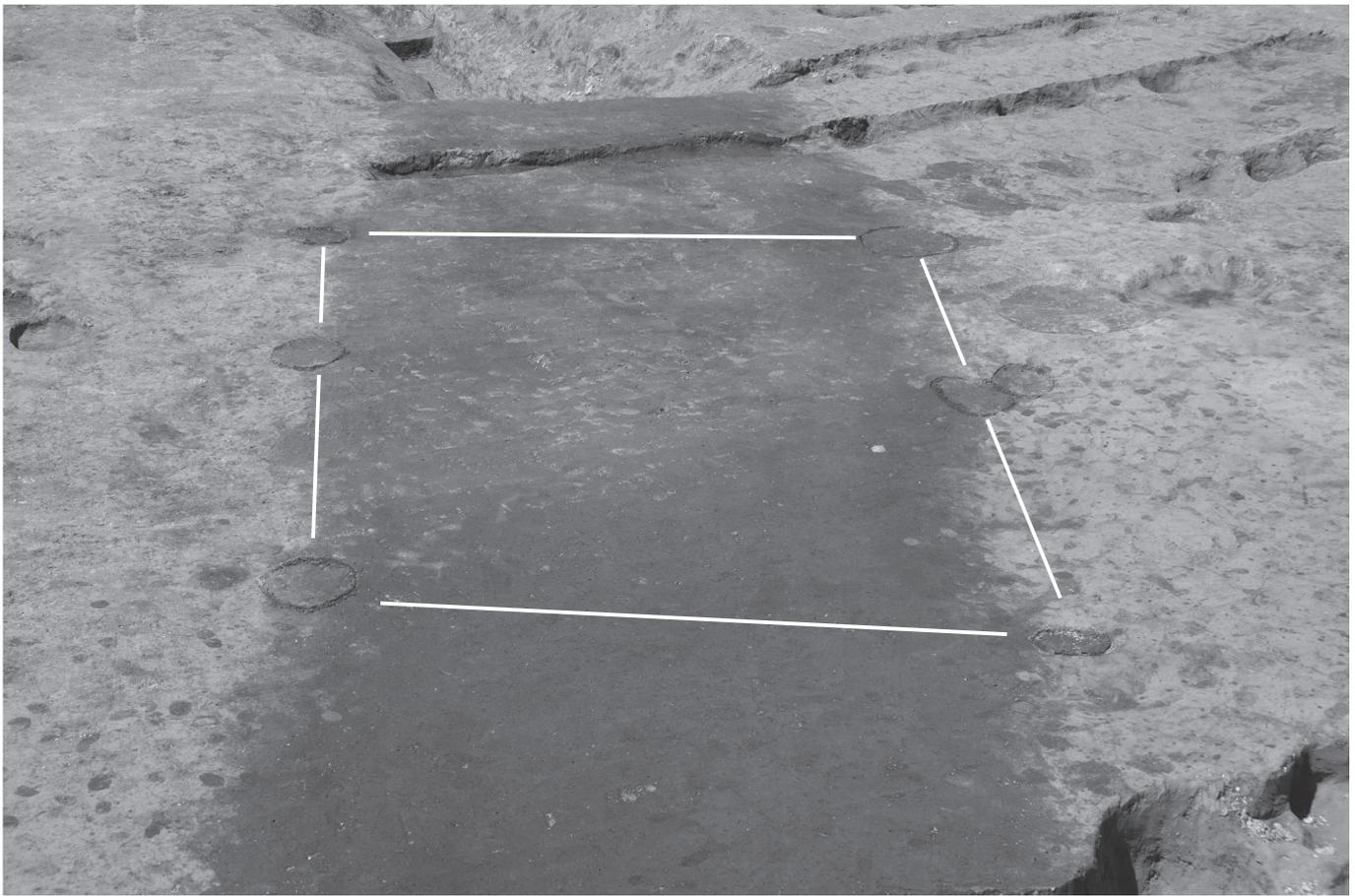
60 A区 SB02 P10 土層断面 (東から)



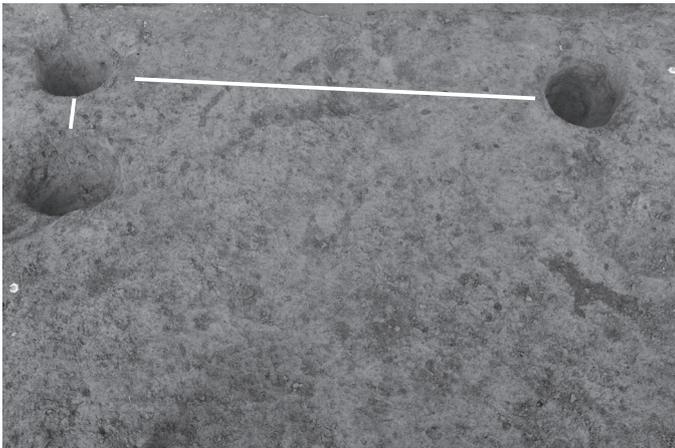
61 A区 SB02 P11 土層断面 (北東から)



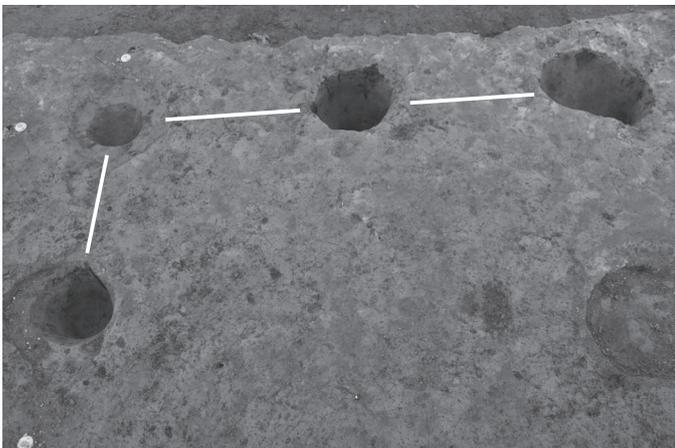
62 A区 SB04 検出 (東から)



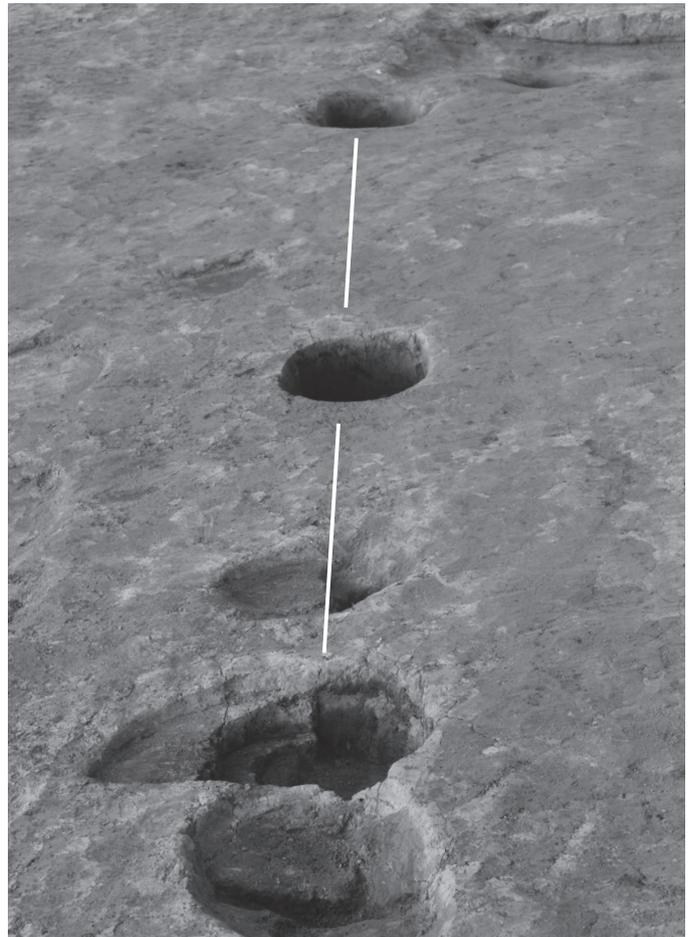
63 A区 SB07 検出 (東から)



64 A区 SA02 完掘 (南から)



65 A区 SA03 完掘 (南から)



66 A区 SA07 完掘 (南から)



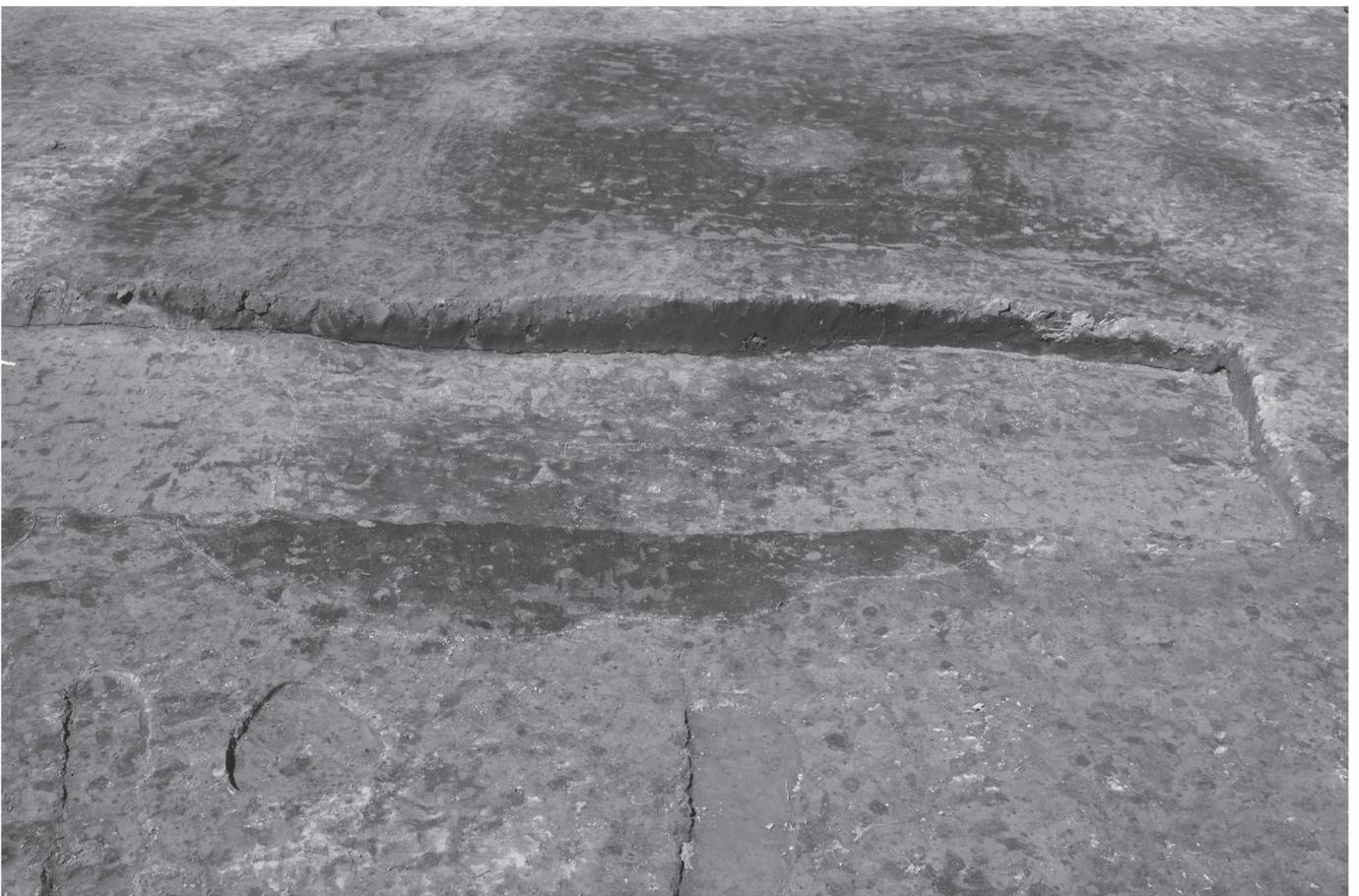
67 A区 S D02 半裁状況 (南から)



68 A区 S D02 土層断面 (北から)



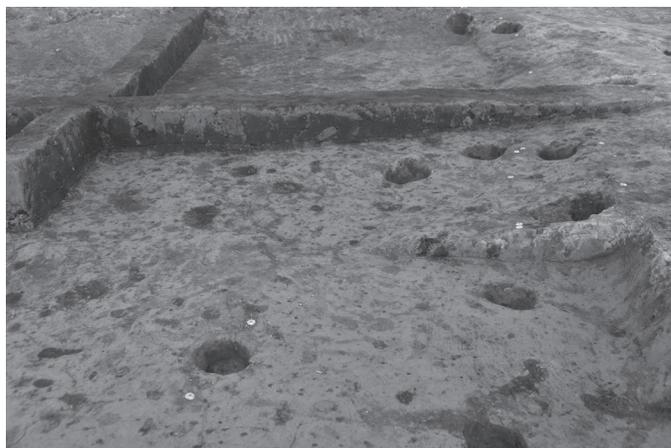
69 A区 S D02 土層断面 (西から)



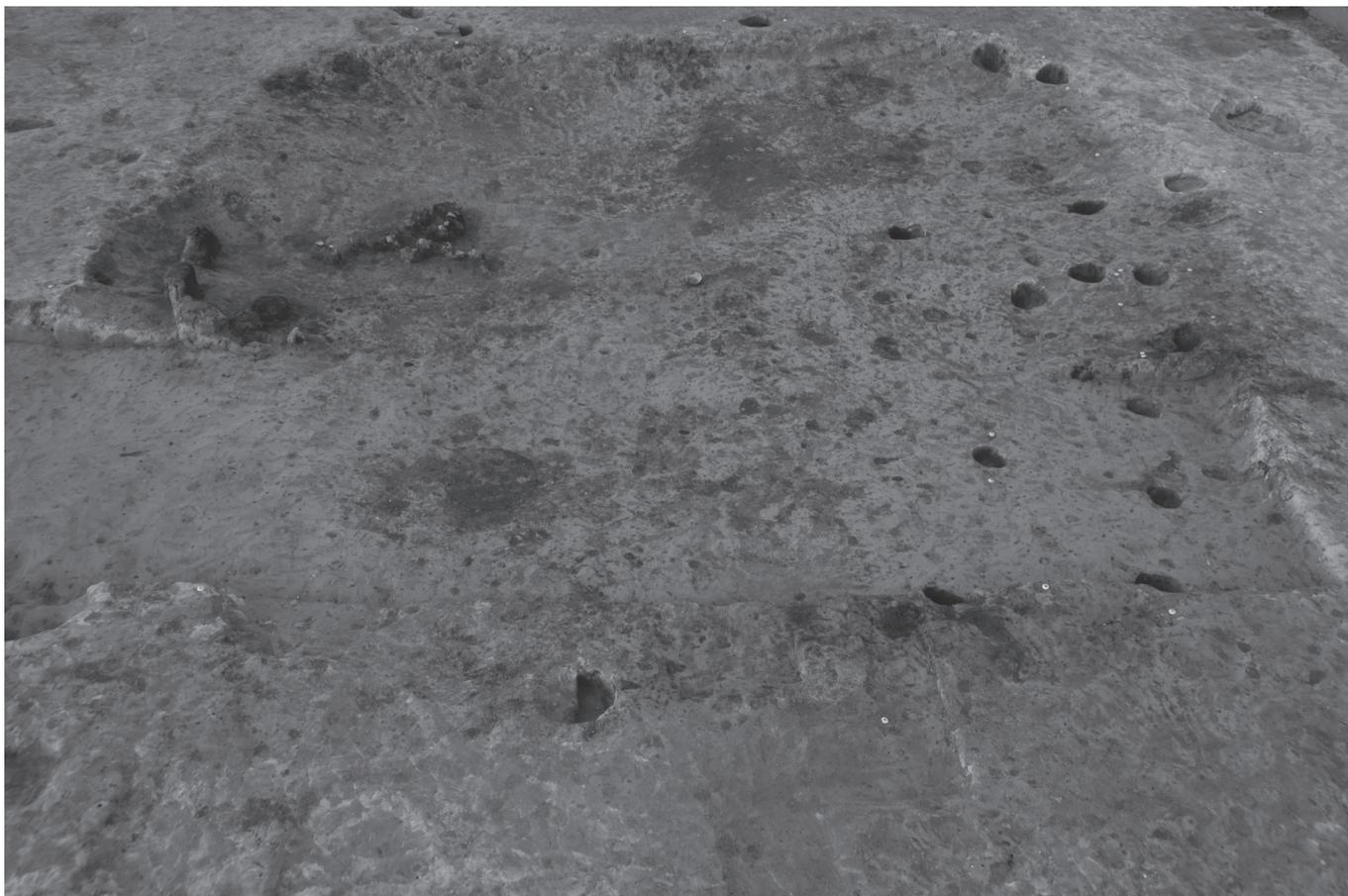
70 A区 S I 01 検出状況 (南から)



71 A区 S I 01 東西ベルト土層断面 西側 (南から)



72 A区 S I 01 東西ベルト土層断面 東側 (南から)



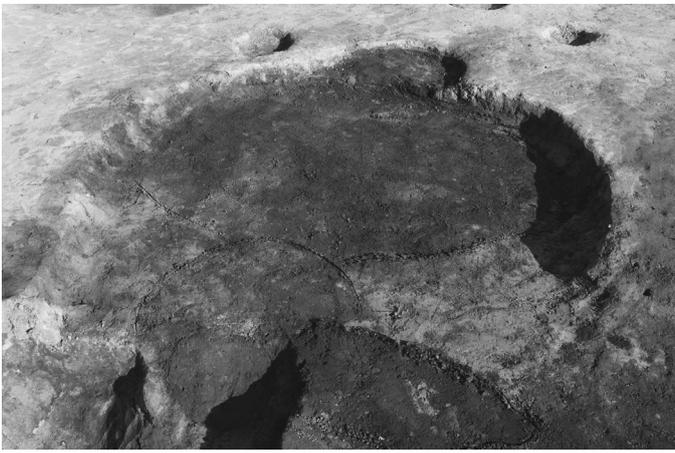
73 A区 S I 01 6層掘削状況 (南から)



74 A区 S I 01 遺物出土状況 (東から)



75 A区 S I 01 遺物 (No. 75) 出土状況 (南西から)



76 A区 SK07 検出状況 (北から)



77 A区 SK07・SP129 土層断面 (南西から)



78 A区 SK07 土層断面 (北から)



79 A区 SK07 土層断面 (東から)



80 A区 SK08 検出状況 (北西から)



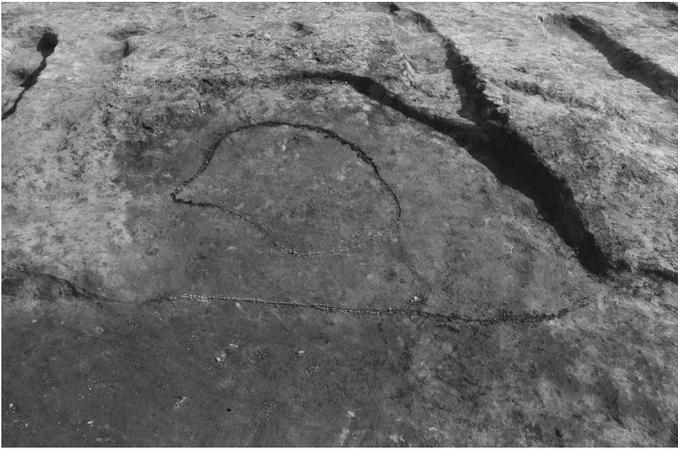
81 A区 SK08 遺物出土状況 (西から)



82 A区 SK08・SD01 土層断面 (西から)



83 A区 SK08 土層断面 (南東から)



84 A区 SK09 検出 (北から)



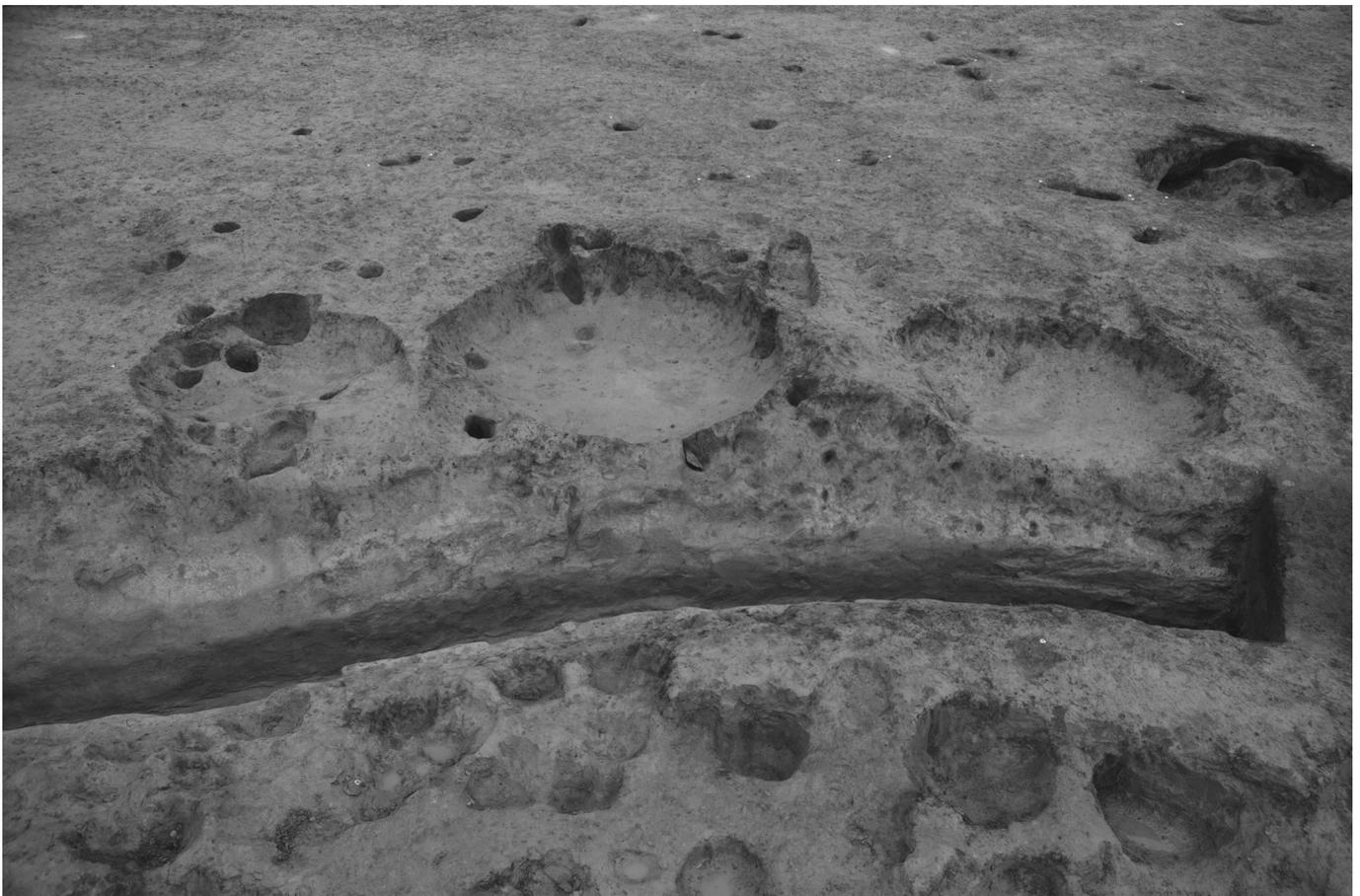
85 A区 SK09 検出 (北から)



86 A区 SK09・SD01 土層断面 (東から)



87 A区 SK09 土層断面 (北東から)



88 A区 SK07～09 完掘 (北から)



89 A区 SK16 土層断面 (東から)



90 A区 SK16 オーバーハング部 検出 (東から)



91 A区 SK16 オーバーハング部 検出 (南から)



92 A区 SK24 土層断面 (南から)



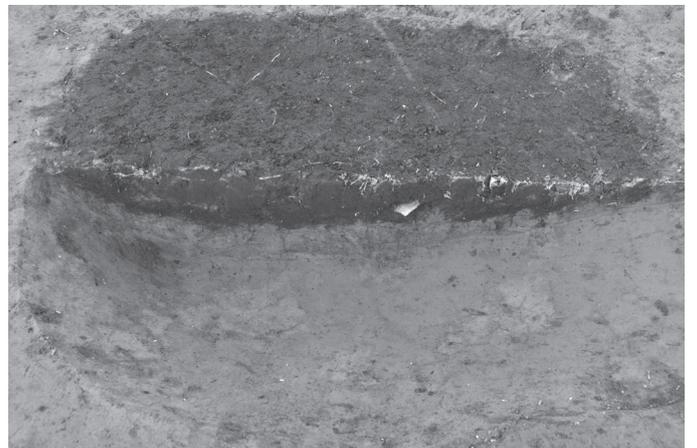
93 A区 SK24 オーバーハング部 検出 (南東から)



94 A区 SK49 遺物出土状況 (南から)



95 A区 SK49 遺物 (No. 112) 出土状況 近景 (南から)



96 A区 SK49 土層断面 (南から)



97 A区 SX01 東西ベルト土層断面 西側 (南西から)



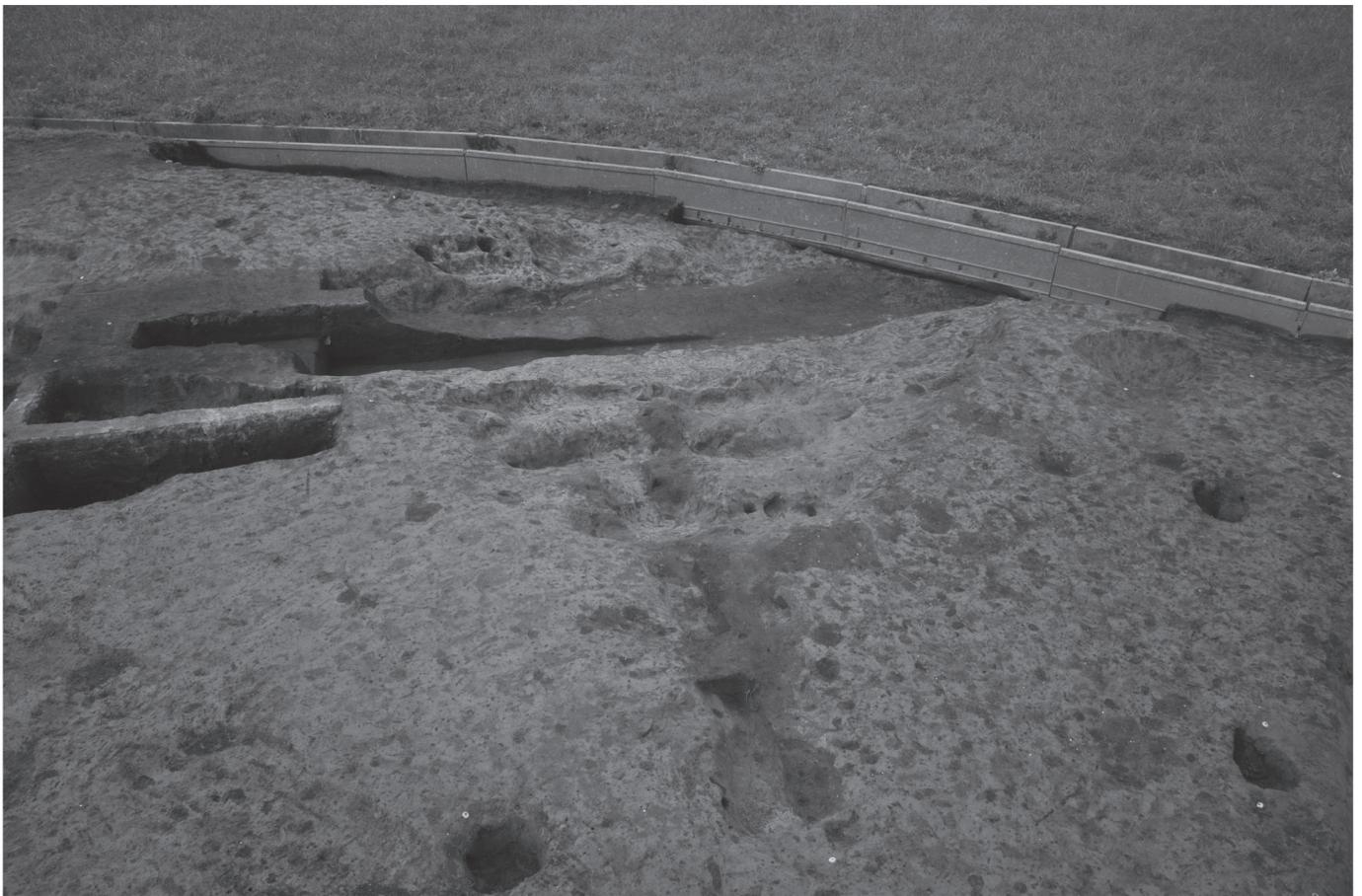
98 A区 SX01 東西ベルト土層断面 東側 (南西から)



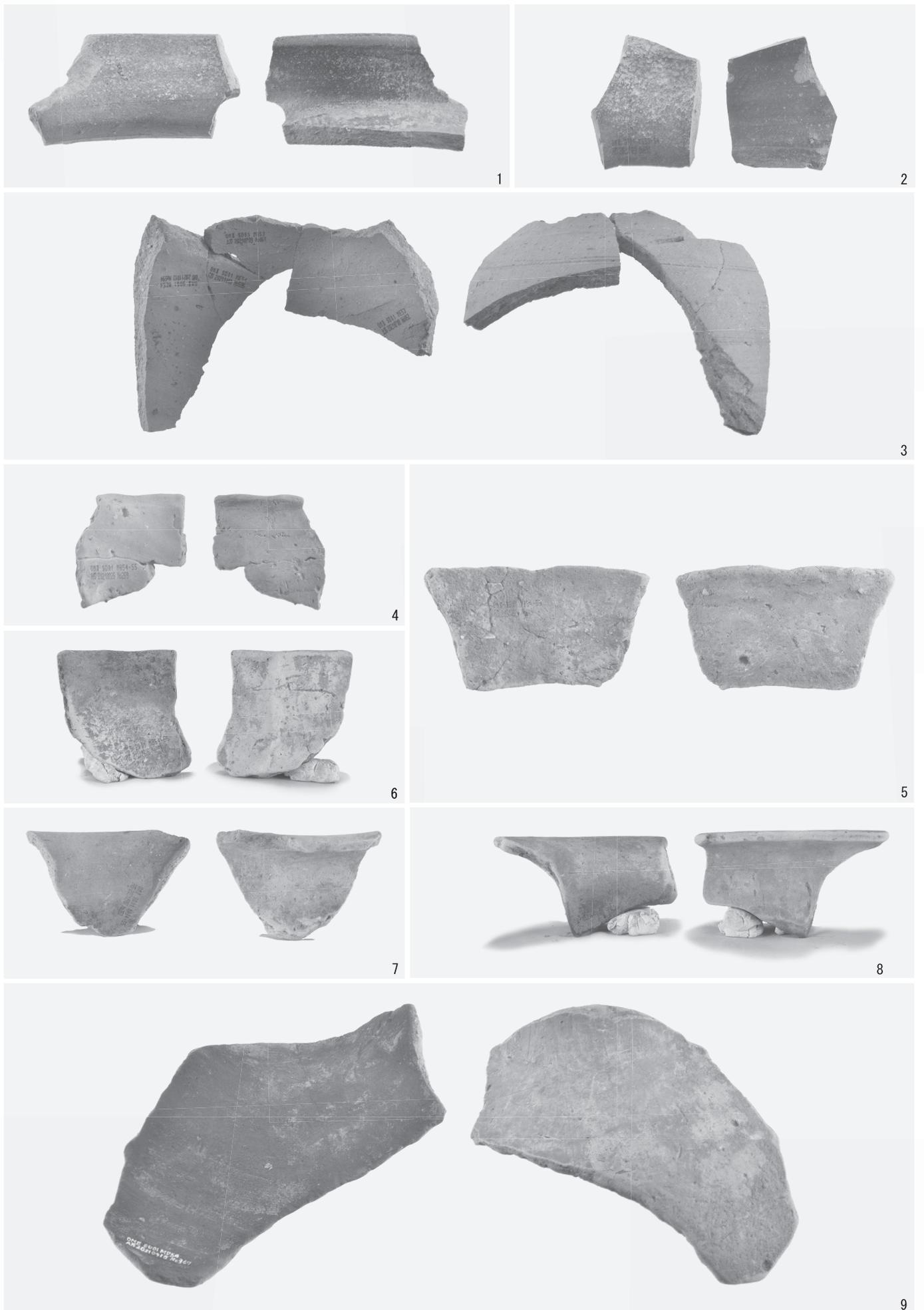
99 A区 SX01 南北ベルト土層断面 北側 (北西から)



100 A区 SX01 南北ベルト土層断面 南側 (北西から)



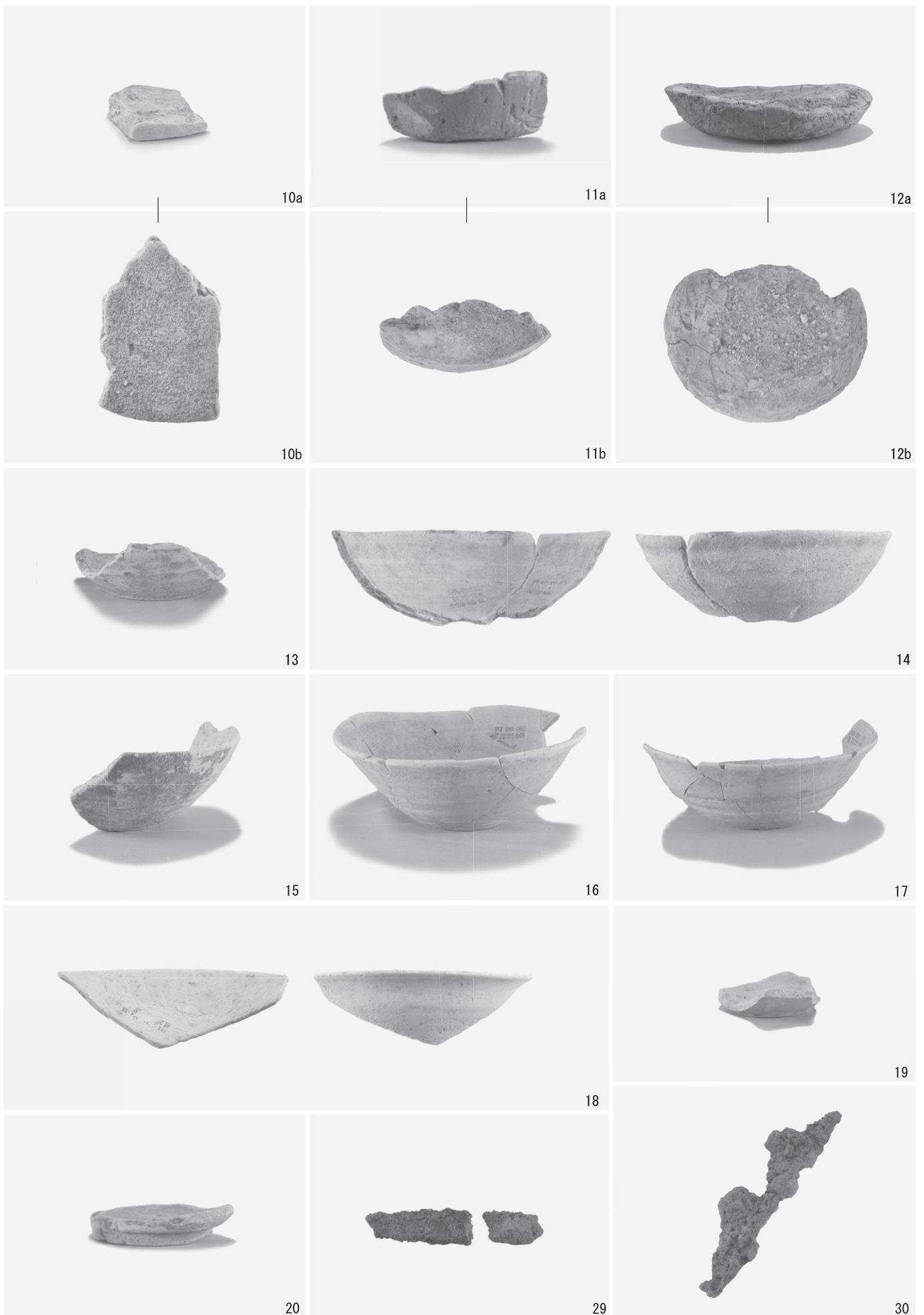
101 A区 SX01 完掘 (南西から)



1～9 SD01 A層 (すべてS=約2/5)

SD01 出土遺物①

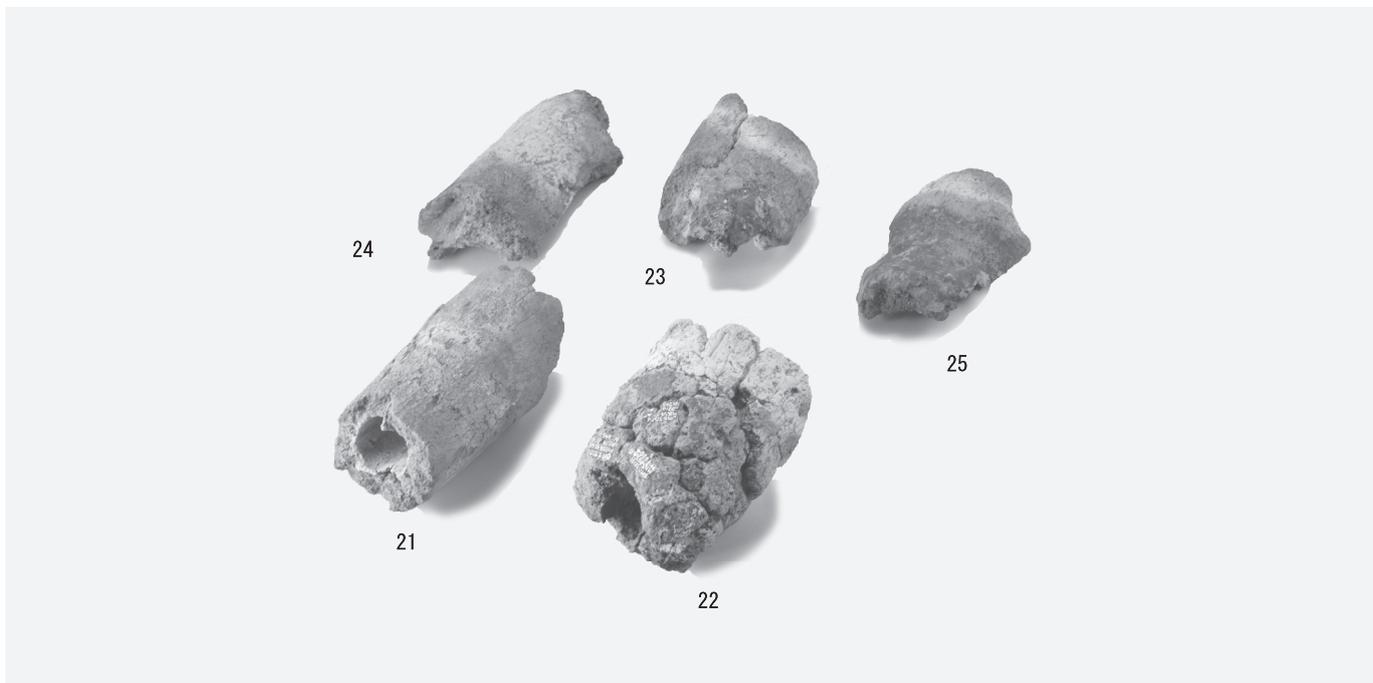
図版 21



10 ~ 20・29・30 SD01 A層 (すべてS=約2/5)

図版 22

SD01 出土遺物②



21 ~ 28 SD01 A層 (26・27はS=約2/5、その他はS=約1/4)
SD01 出土遺物③

図版 23



31



33



32



34



35



36



37



38



39

40



41



42



43

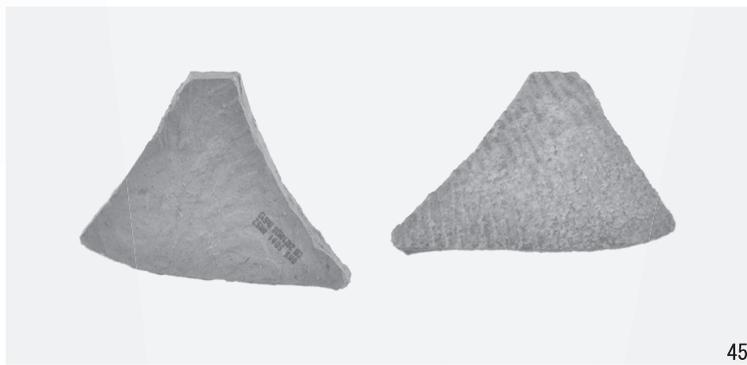


44

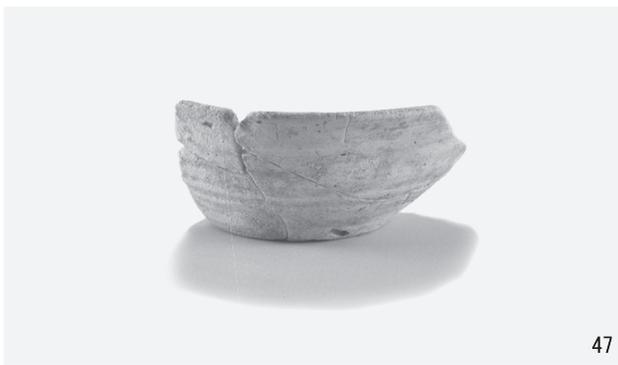
31～44 SD01 B層 (44はS=約1/1、その他はS=約2/5)

図版 24

SD01 出土遺物④



45



47



46



48



49



50



51



52



53



54



55



56



57



58

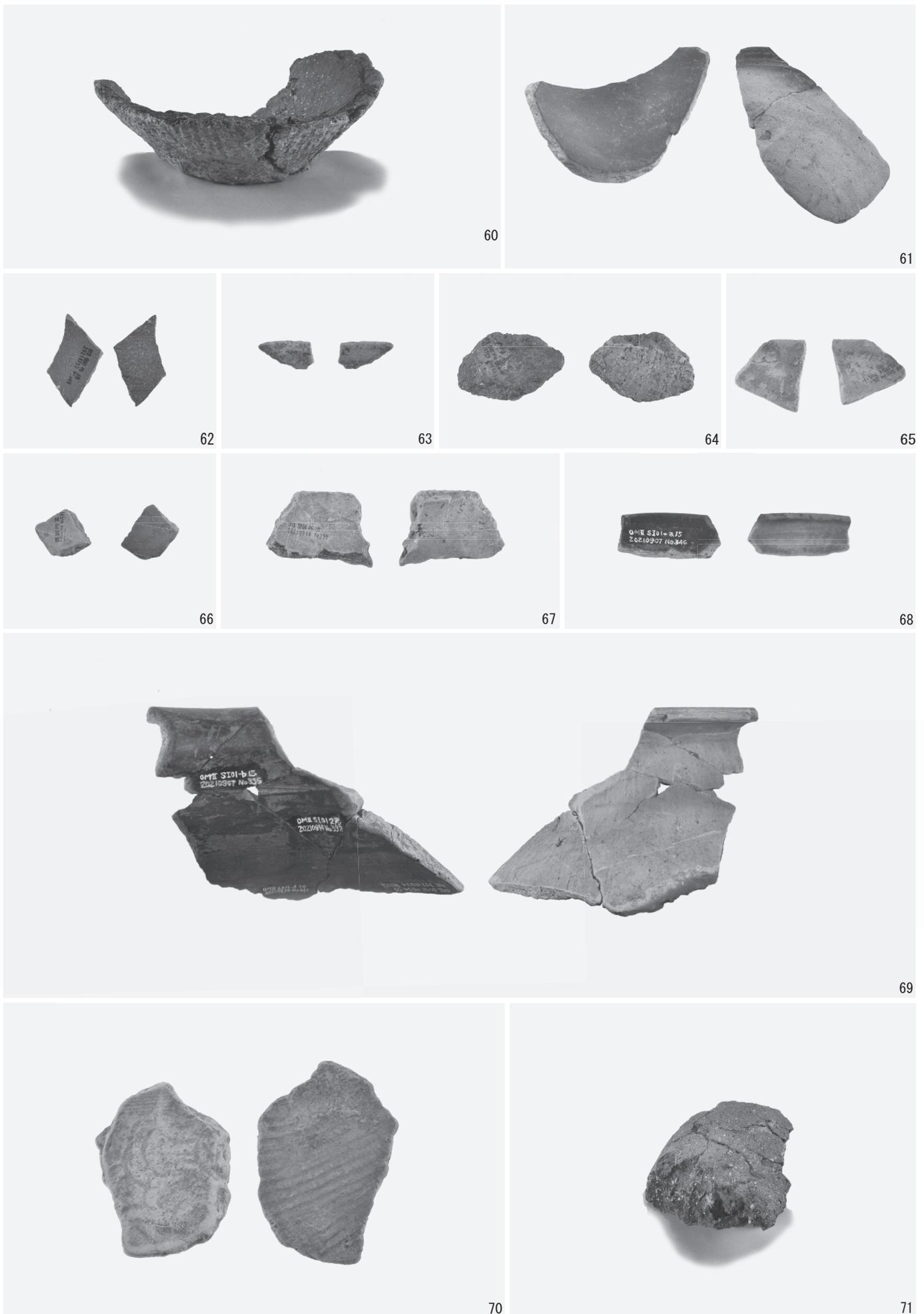


59

45～47 SD01 C層、48～59 SD01 D層 (すべてS=約2/5)

SD01 出土遺物⑤

図版 25



60・61 SA01 E層、62・63 SB01、64～66 SB02、67 SB04、68～71 SI01 埋土 (すべてS=約2/5)
 図版 26 S A 01・A区遺構内出土遺物



72



73



74a



75



74b



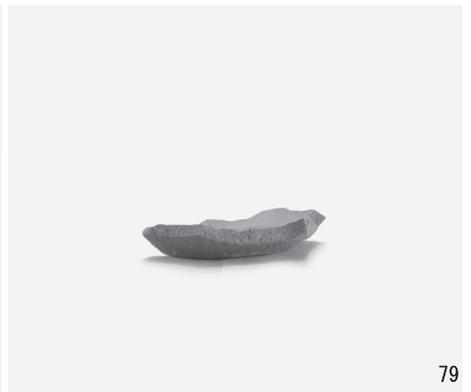
76



77



78



79



80

72 SI01 埋土、73～75 SI01 粘土範囲、76 SK07、77～80 SK08 (すべてS=約2/5)
A区遺構内出土遺物①

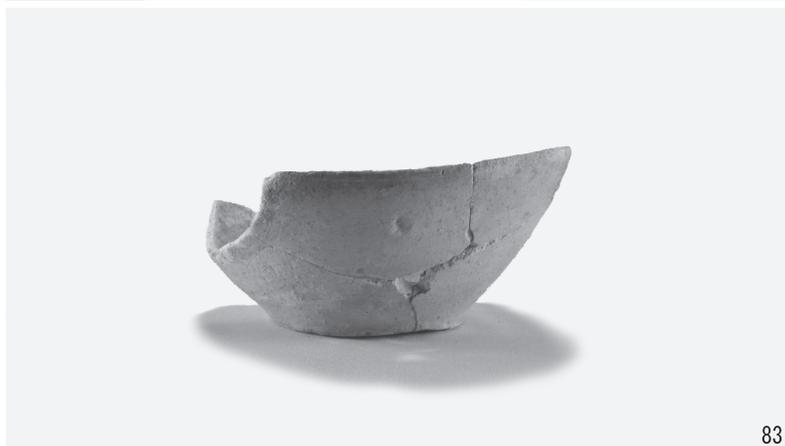
図版 27



81



82



83



84



85



86



87



88



89



90



91



92

81 ~ 92 SK08 (すべてS = 約 2/5)
図版 28

A区遺構内出土遺物②



93



94



95



96



97



98



99



100



101



102



103



104

93 ~ 95 SK08、96 ~ 99 SK09、100・101 SK16、102 SK20、103・104 SK24 (すべてS=約2/5)

A区遺構内出土遺物③

図版 29



105



106



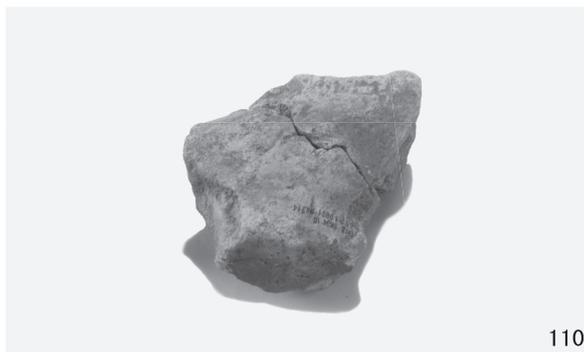
107



108



109



110



111



112



113

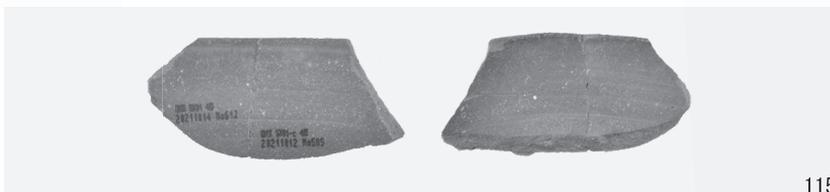
105～108 SK32、109・110 SK34、111 SK45、112・113 SK49 (すべてS=約2/5)

図版 30

A区遺構内出土遺物④



114



115



116



117



118



119



120



(1)



(2)

114 ~ 119 SX01、120 第I層、(1) SD01 A層、(2) SI01 埋土 (すべてS=約2/5)
A区遺構内・遺構外出土遺物

図版 31

報 告 書 抄 録

ふりがな	おおまたにいせき							
書名	大又Ⅱ遺跡							
副書名	農地集積加速化基盤整備事業に伴う発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	眞井田宏彰、神田和彦、菅井一希、山崎貴之、奥田弘和、佐々木和城							
編集機関	秋田市教育委員会（秋田市観光文化スポーツ部文化振興課）							
所在地	〒010-8560 秋田県秋田市山王一丁目1番1号 TEL 018-888-5607 FAX 018-888-5608							
発行年月日	2022年3月22日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (m ²)	調査原因
		市町村	遺跡番号					
おおまたにいせき 大又Ⅱ遺跡	あきたしゅうわたくさがわ 秋田市雄和田草川 あざおおまた 字大又地内	05201	517	39度 38分 31秒	140度 9分 46秒	20210617 ～ 20211031	3,720	農地集積加速化 基盤整備事業
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
大又Ⅱ遺跡	集落跡	奈良・平安	掘立柱建物跡7棟、柱列塀1条、柱列跡7条、溝跡7条、竪穴状遺構1基、土坑50基、ピット296基、性格不明遺構1基		須恵器、土師器、赤褐色土器、フイゴ羽口、金床石、刀子、鉄滓			
要約	<p>①検出遺構のうち、遺跡の東西を横断するように検出されたS A01柱列塀と同位置に作り替えられたS D01溝跡は、本遺跡を特徴づける区画施設の遺構である。</p> <p>②Ⅰ期（8世紀中葉?～9世紀第3四半期）、Ⅱ期（9世紀第4四半期～10世紀第1四半期・第2四半期）、Ⅲ期（10世紀第2四半期以降、11～12世紀代か?）という3時期の変遷を確認した。</p> <p>③Ⅰ期は区画施設がS A01柱列塀である段階で、S B01・02のような柱掘り方が隅丸方形の掘立柱建物が伴う。柱列塀は、柱痕跡から直径16～35cmと推定される丸材を用いている。Ⅱ期の区画施設は、Ⅰ期の柱列塀の柱を抜き取り、同位置にS D01として作り直している。Ⅱ期に伴う遺構はS I01等の竪穴状遺構等で、小鍛冶等を行っている。Ⅲ期は区画施設である溝跡を完全に埋め立て、柱掘り方が丸形の掘立柱建物を伴う。</p> <p>④Ⅰ期遺構は、秋田県南秋田郡五城目町の石崎遺跡と比較できるような「官」的な要素が強い。Ⅱ期遺構は、戸島上野Ⅰ遺跡（上野遺跡）などの遺跡と類似した性格をもつ。Ⅲ期遺構の構築年代は不明な点が多いが、近隣の虚空蔵大台滝遺跡と同時期の11世紀代まで下る可能性がある。</p> <p>⑤文献史料に出てくる「助川」村落の一部にあたる可能性が高く、また、天平宝字年間（785～794）に設置された「助河駅家」、延暦23年（804）の文献史料にみられる「河辺府」、元慶の乱（878）時に政府軍が一時的に退却したとされる「秋田営」との関係について、今後検討を要する。</p>							

秋田市

大又Ⅱ遺跡

—農地集積加速化基盤整備事業に伴う発掘調査報告書—

印刷・発行 令和4年3月22日

編集 秋田市教育委員会

(秋田市観光文化スポーツ部文化振興課)

〒010-8560 秋田市山王一丁目1番1号

TEL 018-888-5607 FAX 018-888-5608

印刷 株式会社 三戸印刷所
